

「 だいすきだよ、ママ 」

ボクとママは いつもいっしょ。
うまれるまえから いつもいっしょ。

ママはボクと くるまであそんでくれる。
ボク、くるまであそぶの だいすき！
でも、おかたづけは ママがしてね。
おもちゃばこに ちゃんと ならべなきゃいけないんだから。
「ブルルン、ブルルン！」

ボクのママは いつもすてき。
ママはときどき おしゃれをする。
ボクもやりたい！ママもいって！
あとね、ボク、ママのふくを もっとかわいくしてあげるんだ。
でも、それはダメだって・・・。

ボクとママは いつもいっしょに おかいもの。
「おこめに、おやさい、くだもの・・・ほかにかうもの あったかしら？」

ボク、おかいものかごを はこぶの ^{だい}大とくい。
でも、なかのおかたづけは もっと とくいなんだ。
おかしのふくろだって すぐにペロリ。

いいおてんきの日は ^ひボクとママは ブランコにのる。
どっちが たかく こげるかな？
ママが こぐのを、ちょこっと おてつだいで、
ママを かたせてあげるんだ！
「もっともっと たかく！」

ボク、やまのぼりも だいすき！
がんばって よじのぼって くものうえまで。
てっぺんについたら ママが ごほうびのキスをくれるんだ。

ほんとはね、いつでも ボクが王^{おう}さまなんだ。
「パッパカ、パッパカ！ パカラッ！パカラッ！
ママ、はしって！ もっともっと はやく！」

ボク、かくれんぼが じょうずなんだ。
だれにも みつからないんだよ！
ママだって ボクを みつけられないんだから。

それでね、いきなり 大^{おお}きなこえで
「ばあ〜〜！！」
ママは とびあがってビックリ。
ね、おもしろいでしょ？

ボク、はちうえに お水^{みず}を あげるのもすき。
でも、おかしいのはね、
ボクのお水^{みず}を あげていると、
なんでかわからないけど、いつも 雨^{あめ}がふりだすんだよね。

ママは ぜーったいに ボクを おこったりしないんだけど・・・
でもね、おこったときは すっごく こわい！
それで、なんでおこってるのか おしえてくれるんだけど・・・

それは、すっごく ながい おはなしなんだ。

ほんとはボク、おそらを とびたいんだ。

「ほんとうに やりたいと おもっているなら
できないことなんて ないのよ。」

って ママは いうんだけど。

そうだよね。

みてみて、ボク、もうじょうずに おそらを とべてるでしょ。

それなのに、ボクの鼻^{はな}を はなすのは まだいやみたい。

おやすみのとき、ママが ボクのパンツから ふるいおとした
おほしさたちは おそらに のぼっていった。

ボクは“ママ”を ぎゅっと だきしめて こういうんだ。

「おやすみなさい、おほしさま。またいつか。」